

唐津市工業用水道事業経営戦略 (改定版)

令和7年3月
唐津市上下水道局

目次

第1章 経営の基本方針	1
1 現状と課題	1
2 方針	1
第2章 計画期間	2
第3章 将来の事業環境	2
1 水需要の予測	2
2 料金収入の見通し	3
3 組織の見通し	3
第4章 投資・財政計画	4
1 投資・財政計画	4
2 投資・財政計画の策定にあたっての説明	4
第5章 効率化・経営健全化の取組	6

第1章 経営の基本方針

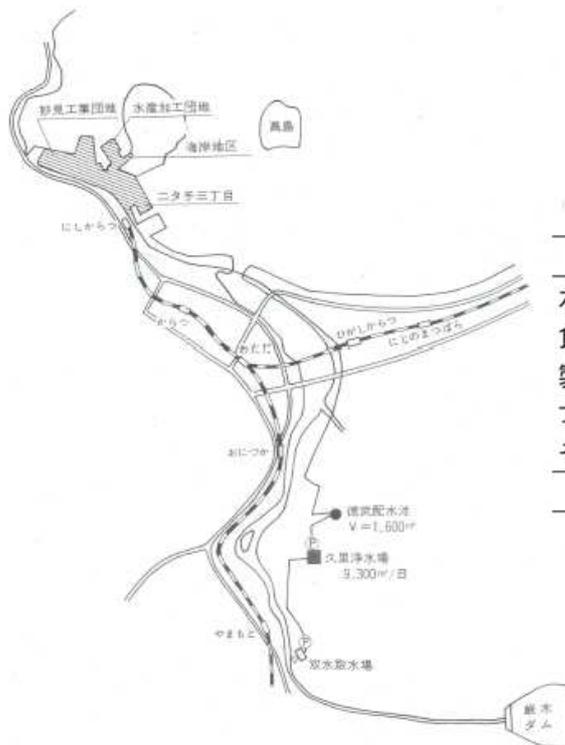
1 現状と課題

唐津市の工業用水道事業は厳木ダムを水源とし、平成5年に供給を開始しました。双水取水場で取水し、久里浄水場で浄水処理を行った後、徳武配水池に貯水し、受水企業へと配水しています。管路延長は約15kmで、9,300m³/日の配水能力に対して契約水量は2,514m³/日、受水企業は7社となっています。

課題としては、配水能力に対して、未契約水量が多いことがあげられます。

事業経営の健全化のためには、契約水量を増やし、給水収益を増加させることが必要です。企業誘致部局等との連携をはじめ、工業用水道の新たな活用法を検討し、契約水量及び受水企業を増やすことで、給水収益の増加を図っていきます。

布設概要図



ユーザーの概要

令和6年3月31日現在

業種	件数	基本水量(m ³ /日)
水産加工業	2	154
食品加工業	2	1,600
製氷業	1	60
プラスチック製品製造業	1	100
その他	1	600
	7	2,514

2 方針

- 安定した収入を確保するため、工業用水の新規需要開拓に取り組み、経費節減を図ります。
- 工業用水を安定して供給するため、施設、設備及び管路の更新に計画的に取り組みます。
- 施設、設備及び管路の更新費用を確保するため、適切な料金設定を行い、将来の事業運営に備えた財政基盤の強化を図ります。

第2章 計画期間

令和6年度から令和15年度まで10年間

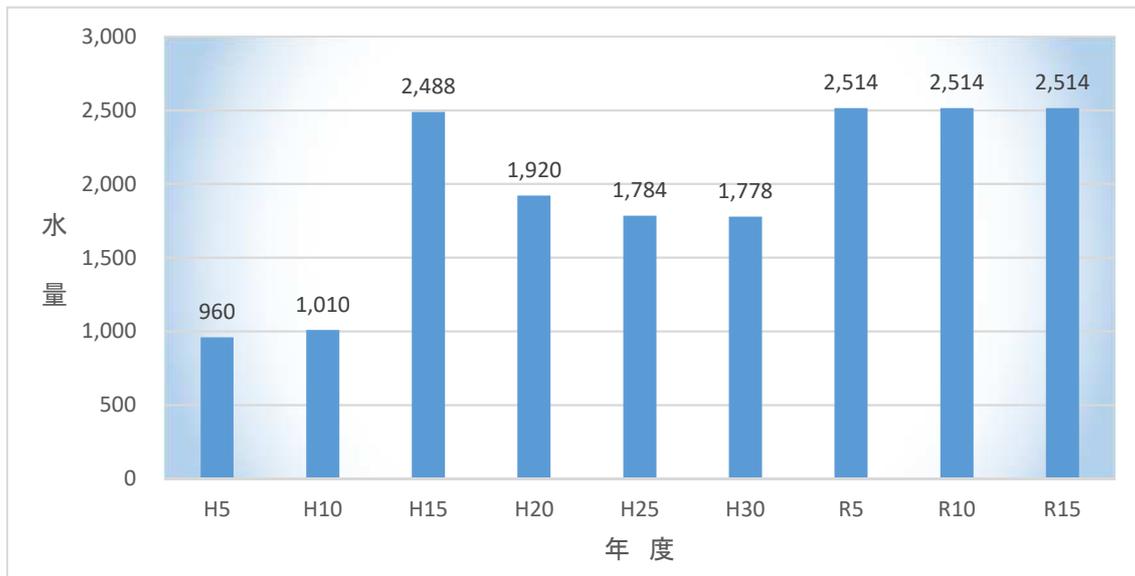
総務省が示す「経営戦略」における「中長期的な視点から経営基盤の強化等に取り組むことができるように、計画期間は10年以上を基本とする」という考え方にとり、長期的な安定を見越した中での10年を本計画の計画期間とします。

第3章 将来の事業環境

1 水需要の予測

【契約水量の推移】

(単位：m³/日)



平成5年度に2社(960m³/日)への供給から始まり、徐々に契約が増えていき、平成15年度に6社(2,488m³/日)と契約水量が多くなりましたが、その後は平成24年度(1,684m³/日)まで年々契約水量が減少していきました。

新規需要を開拓するため、市内の企業へ水需要に関するアンケート調査や企業訪問を行った結果、平成25年度に新規受水企業が1社増え、契約水量も増加(1,784m³/日)に転じましたが、平成27年度に1社廃止(1,534m³/日)となり、減少傾向となっていました。

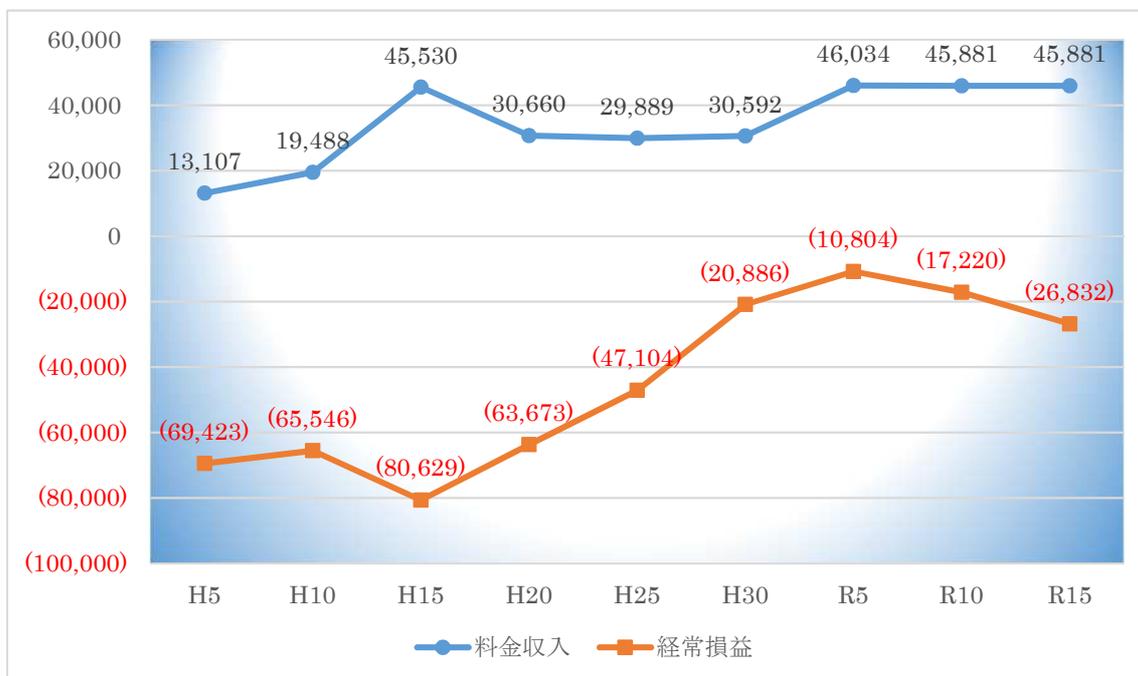
令和4年度からは、新規受水企業が1社増加し、契約水量も過去最大の2,514m³/日となりましたが、今後は契約水量の大幅な伸びは見込めません。

このような状況ではありますが、これからも企業誘致部局等と連携し、工業用水の需要拡大に取り組めます。

2 料金収入の見通し

【料金収入及び経常損益の推移】

(単位：千円)



料金は責任水量制（給水量によらず、契約水量に基づく固定料金制）を採用しています。供給を開始して以来、料金改定は行っていません。

現在、毎年純損失を計上している状況ですが、基本料金が50円/m³と県内の他事業体と比較して高価であり、今後の料金改定は予定していません。

しかし、将来的に契約水量が増え、安定した経営が行えるようになった場合は、経済産業省が定めた料金算定要領を参考に、適正な料金となるよう定期的な見直しを行います。

3 組織の見通し

現在、唐津市上下水道局において、工業用水道事業の損益勘定職員数は1人ですが、唐津市上下水道局全体として、工業用水道の事業運営を行っています。

今後も、職員1人体制を継続し、各種研修等への参加を通じて、専門知識及び技術の向上に努め、共通事項の多い唐津市水道事業との連携を強化していきます。

第4章 投資・財政計画

1 投資・財政計画

収益的収支（税抜）

⇒ 計画期間

項目		年度	R3	R4	R5	R6	R7
収入	料金収入	A	35,231	47,840	46,034	45,881	45,881
	他会計負担金ほか	B	0	0	3	0	0
	一般会計繰入金	C	0	0	0	0	0
	長期前受金戻入	D	27,253	27,560	27,616	27,246	27,251
	その他	E	26,426	29,148	27,603	27,531	27,531
	計	①	88,910	104,548	101,256	100,658	100,663
支出	人件費	F	5,957	7,265	8,782	8,843	5,567
	一般経費	G	14,982	24,116	22,900	31,732	25,441
	減価償却費	H	78,965	79,919	80,378	81,576	81,208
	支払利息	I	0	0	0	0	1
	計	②	99,904	111,300	112,060	122,151	112,217
純損益		①－②	▲ 10,994	▲ 6,752	▲ 10,804	▲ 21,493	▲ 11,554

資本的収支（税込）

⇒ 計画期間

項目		年度	R3	R4	R5	R6	R7
収入	企業債	J	0	0	0	0	0
	一般会計繰入金	K	0	0	0	0	0
	その他	L	0	0	0	1	1
	計	③	0	0	0	1	1
支出	建設改良費	M	21,305	8,624	18,964	1,800	25,288
	企業債償還金	N	0	0	0	0	0
	計	④	21,305	8,624	18,964	1,800	25,288
企業債残高		O	0	0	0	0	0
現預金残高		P	171,687	204,999	219,167	245,912	260,298

2 投資・財政計画の策定にあたっての説明

- 取水、送水及び配水施設については、計画的な更新を図り、工業用水を安定して供給できるよう取り組みます。
- 将来の更新費用の財源を確保するため、新規需要の開拓や経費節減に努めます。

(単位：千円)

R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15
45,881	46,006	45,881	45,881	45,881	46,006	45,881	45,881
0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0
27,251	27,251	27,251	27,251	27,251	27,251	27,251	27,251
27,531	27,607	27,531	27,531	27,531	27,607	27,531	27,531
100,663	100,864	100,663	100,663	100,663	100,864	100,663	100,663
5,567	5,567	5,567	5,567	5,567	5,567	5,567	5,567
25,441	25,441	25,441	25,441	25,441	25,441	25,441	25,441
82,551	84,831	86,874	92,678	93,200	93,466	94,677	96,486
1	1	1	1	1	1	1	1
113,560	115,840	117,883	123,687	124,209	124,475	125,686	127,495
▲ 12,897	▲ 14,976	▲ 17,220	▲ 23,024	▲ 23,546	▲ 23,611	▲ 25,023	▲ 26,832

(単位：千円)

R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15
0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0
1	1	1	1	1	1	1	1
1	1	1	1	1	1	1	1
48,000	33,500	43,600	8,500	4,800	25,500	18,700	12,900
0	0	0	0	0	0	0	0
48,000	33,500	43,600	8,500	4,800	25,500	18,700	12,900
0	0	0	0	0	0	0	0
254,038	261,140	258,879	288,527	321,539	335,913	356,289	381,937

第5章 効率化・経営健全化の取組

唐津市水道事業と連携を図り、組織の効率化と職員の適正管理に努めていきます。

また、安定した収入を確保するため、工業用水の新規需要開拓を行い、経費節減を図り、将来的な施設、設備及び管路の更新について、計画的に取り組めます。

ホームページなどで決算状況の公開など、より透明性の高い経営・利用者の理解を得られる経営を心がけていきます。

防災対策については、唐津市水道事業と連携を図り、災害時の危機管理マニュアルの見直しを行い、防災対策の充実及び危機管理体制の強化を図ります。